

# 令和5年度（2023年度）

## 京都市立芸術大学大学院音楽研究科博士（後期）課程学生募集要項

### 【目次】

第1	募集人員	1
第2	出願資格	1
第3	出願手続	3
第4	入学者選抜試験	11
第5	合格発表	15
第6	入学手続	15
第7	個人情報の取り扱いについて	16
第8	音楽研究科博士（後期）課程の概要	17

#### 【問合せ先】

京都市立芸術大学 連携推進課 入試担当

〒610-1197 京都市西京区大枝杵掛町 13-6

TEL：075-334-2238

FAX：075-334-2281

## —大学院音楽研究科博士（後期）課程の教育・研究目的—

音楽研究科博士（後期）課程は、高度で専門的な音楽芸術の研究を行い、世界的に活躍しうる音楽家、音楽学者を育成することを目的とします。

### ◆アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

音楽研究科博士（後期）課程は、以下のような人材を求めています。

- 1 音楽芸術の専門的で極めて高度な研究に必要な技術と知識、強い研究意欲を持つ人材
- 2 個性と芸術的創造力にあふれる人材

### ◆カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

音楽研究科博士（後期）課程は、次の力を身につけることを目指し、カリキュラムを編成し、実施します。

- 1 高度で専門的な音楽芸術の研究を通じて培われる想像力、表現力、構想力、思考力、独創力
- 2 実践的な実技指導や特別総合演習などの討論を通して得られる、必要な課題と解決方法を導き出す能力
- 3 専門分野にとどまらず、他分野にまたがる広範で深い知見と問題意識
- 4 社会との双方向的コミュニケーションをなしうるスキル

### ◆ディプロマ・ポリシー（修了認定・学位授与の方針）

音楽研究科博士（後期）課程は、修了時まで達成すべき目標を以下のとおりとします。

- 1 実演、創作、学術研究の各分野における、専門的音楽人として相応しい音楽的もしくは学術的に極めて優れた想像力、表現力、構想力、思考力の獲得
- 2 解決すべき課題を自ら創出し、自律的にその解決への道筋を整えることのできる能力の習得
- 3 他分野に対しても幅広く深い知見と問題意識を有し、それらについて社会と双方向的に創造的コミュニケーションを図り、グローバルな視野をもって芸術文化の発展に深く寄与できる能力の修得

## 第1 募集人員

(標準修業年限3年)

専攻	研究領域	募集人員
音楽	作曲・指揮 器楽 声楽 音楽学	5名 *上記募集人員には、社会人特別選抜及び外国人留学生特別選抜(若干名)を含みます。

注 器楽領域のうち、打楽器については、令和5年度は学生募集を行いません。

## 第2 出願資格

### 1 一般選抜 (1)~(8)のいずれかに該当する必要があります。

- (1) 学校教育法第104条第1項の規定により修士の学位または専門職学位を有する者及び令和5年3月31日までに取得見込みの者
- (2) 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和5年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和5年3月31日までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和5年3月31日までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和5年3月31日までに授与される見込みの者
- (6) 外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設または国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者(平成元年文部省告示第118号)
- (8) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、令和5年3月31日までに24歳に達する者

注 出願資格(8)の資格認定を希望する者は、出願資格認定審査等の手続を要するため、「3 資格認定希望者提出書類」を参照し、必要な書類を期限までに提出してください。

### 2 社会人特別選抜及び外国人留学生特別選抜

特別選抜とは、大学院における専門教育の開放と交流を目的とし、選抜試験のうち語学試験を免除するもので、一般選抜の出願資格のいずれかに該当する外国人留学生及び一般選抜の出願資格のいずれかに加えて以下の(1)~(3)のいずれかに該当する社会人を対象とします。

ただし、特別選抜は外国語の能力が入学後の研究遂行に不要であるということの意味するものではありません。入学後、音楽に関する研究をするうえで、外国語の文献等を読解できる程度の語学力が必要となります。

- (1) 出願時において各種の企業、研究機関又は教育機関に正規職員として勤務し、入学後もその身分を有し、所属長から推薦を受けた者
- (2) 出願しようとする研究領域に関連した職種に3年以上の勤務経験を有すると本大学院が認めた者
- (3) 出願しようとする研究領域に関連した活動を3年以上行っていると本大学院が認めた者

注 特別選抜による受験を希望する者は、出願資格認定審査等の手続を要するため、「3 資格認定希望者提出書類」を参照し、必要な書類を期限までに提出してください。

### 3 資格認定希望者提出書類

出願資格(8)の資格認定を希望する者及び特別選抜による受験を希望する者は、出願資格認定審査等の手続を要するため、令和4年12月9日(金)〔必着〕までに連携推進課入試担当へ以下の書類(A4縦長・横書き)を郵送すること(持参不可)。封筒表面に「音楽研究科特別選抜希望」と朱書してください。結果は令和5年1月12日(木)までにお知らせします。

[提出書類]

- ・履歴書：高等学校卒業以降の学歴及び職歴を記載したもの(様式不問)
- ・業績書：著書、論文、作品、演奏会出演歴等の業績を記載したもの(様式不問)
- ・所属長の推薦書(社会人で特別選抜出願資格(1)に該当する者のみ)
- ・日本語能力証明書又は日本語教育修了証明書(外国人留学生のみ)  
公的機関又は学習した機関による証明書で、学習期間が記載されたもの

## 第3 出願手続

インターネット出願システムを利用し、出願情報等の必要事項を登録のうえ、必要書類を提出期間内に簡易書留・速達郵便で郵送してください。

### 1 必要なインターネット環境

パソコン	Windows : Microsoft Edge (最新バージョン) GoogleChrome (最新バージョン)、Firefox (最新バージョン)
	MacOS : Safari (最新バージョン)
スマートフォン タブレット	Android : 5.0 以上 (Android Chrome 最新バージョン) iOS : 10.0 以上 (Safari 最新バージョン)

- (1) どのウェブブラウザでも、以下の設定を行ってください。
  - ・JavaScript を有効にする。
  - ・Cookie を有効にする。
- (2) セキュリティソフトをインストールしている場合、インターネット出願が正常に動作しない場合がありますのでご注意ください。セキュリティソフトについては、各メーカーのサポートセンターにお問い合わせください。

## 2 出願手順

### (1) アカウント作成 ※Post@net のアカウントをお持ちでない場合

インターネット出願登録サイトの利用にはアカウントが必要になりますので、下記の手順でアカウントを作成してください。既にアカウントをお持ちの方は、⑦から始めてください。

#### 【アカウント作成の流れ】

- ① 京都市立芸術大学ホームページ (<https://www.kcua.ac.jp/examinee/>) にアクセス。
- ② 「インターネット出願」をクリックして出願ページを開きます。
- ③ Post@net のログイン画面より「新規登録」ボタンをクリック。
- ④ 利用規約に同意した後、メールアドレス・パスワードを入力して「登録」ボタンをクリック。
- ⑤ 入力したメールアドレス宛てに、仮登録メールが届きます。
- ⑥ 仮登録メールの受信から 60 分以内にメール本文のリンクをクリックして登録を完了させてください。
- ⑦ ログインの際には、登録したメールアドレスに認証コードが届きますので、入力しログインしてください。
- ⑧ 「学校一覧」から「京都市立芸術大学」を検索し、お気に入り学校の登録をしてください。

※アカウント作成の際、メールアドレスの入力が必要です。フリーメール（Gmail や Yahoo!メールなど）や携帯電話のアドレスで構いませんが、携帯メールの場合はドメイン（@kcua.ac.jp、@postanet.jp）を受信指定してください。出願登録完了時・入学考査料支払い完了時に、登録したメールアドレスに確認メールが自動送信されます。



### (2) インターネット出願登録期間・方法

令和 5 年（2023 年）1 月 16 日（月）から **1 月 19 日（木）17 時 00 分**まで

本学のインターネット出願登録サイトにアクセスし、出願情報等の必要事項を登録してください。

#### 【出願登録の流れ】

- ① 留意事項の確認
- ② 入試区分の選択
- ③ 試験日・研究領域・試験会場等の選択
- ④ 志願者情報（氏名・住所等）の入力・顔写真データの登録

※顔写真データの詳細は「3(1) インターネット出願時に必要な書類（5 ページ）」のとおり

- ⑤ 出願内容の確認
- ⑥ 支払方法の選択

※志願者情報の入力・確認画面では、必ず入力した内容（特に生年月日・電話番号・住所）に誤りがないか十分に確認してください。志願者情報の確認画面を過ぎると内容の変更ができません。

※入力する氏名は戸籍名と同一のこと。外国籍の場合は、住民票の写しに記載されている氏名と同一のこと。その他の書類についても同様とします。

※志望研究領域の出願後の変更は認めません。



### (3) 入学考査料 17, 000 円の支払い

令和 5 年 (2023 年) 1 月 16 日 (月) から 1 月 19 日 (木) 23 時 59 分 59 秒まで  
インターネット出願完了後、コンビニエンスストア、クレジットカードのいずれかにより、指定された期間までに入学考査料をお支払いください。なお、お支払い後、入学考査料は一切返還しません。

【支払い方法】コンビニエンスストアを選択した場合

支払いに必要な番号が表示されますので、必ずメモしてください。

【支払い方法】クレジットカードを選択した番号

インターネット出願登録サイトでカード情報を入力し、決済完了すると入金完了メールが通知されます。

※入学考査料支払いの領収書は提出不要です。控えとして保管してください。

※クレジットカード支払いの場合、出願登録と同時に入学考査料の支払いが完了しますので、出願内容に誤りがないよう確認してください。

※入学考査料の支払い後に出願情報 (住所・氏名・電話番号等) に誤りや変更が生じた場合は、連携推進課入試担当までご連絡ください。



### (4) 必要書類の印刷・送付 (詳細は「3 出願に必要な書類等」のとおり)

令和 5 年 (2023 年) 1 月 16 日 (月) から **1 月 19 日 (木) まで (消印有効)**

※1 月 19 日 (木) 以前の消印で、1 月 25 日 (水) までに本学に到達した出願書類を受理します。

- ① インターネット出願登録サイトから Web 入学志願票等の書類を印刷してください (A4 判、カラー推奨)。
- ② 出願用封筒 (市販の角形 2 号封筒 (240mm×332mm)) を用意し、封筒貼付用宛名シート (A4 判、カラー推奨) を貼り付けてください。

※封筒貼付用宛名シートの出力ができない場合は、直接封筒に記入してください。

- ③ 印刷した Web 入学志願票等の必要書類を封筒に入れ、「簡易書留・速達」で郵送してください。

※Web 入学志願票等の必要書類については、入学考査料の支払い後に「出願内容の確認」から取得が可能です。支払いが完了しても状態が『決済済』に反映されていない場合は、暫く時間をおいてから再度「出願内容一覧」を確認してください。

#### 送り先

〒610-1197

京都市西京区大枝沓掛町 13-6 京都市立芸術大学連携推進課入試担当

(TEL : 075-334-2238)



### (5) 受験票印刷

必要書類の受理、入学料の入金を確認した後に、本学から「受験票ダウンロードメール」をお送りします。インターネット出願登録サイトから受験票をダウンロードし、試験当日までにご自身で印刷してください。

※印刷時、ページの拡大・縮小はせずに A4 で印刷してください。

## 3 出願に必要な書類等

### (1) インターネット出願時に必要な書類

書 類	摘 要
① 顔写真データ	最近3か月以内に撮影した上半身・無帽・正面向き・背景なしのもの。 ※ファイルの形式は JPEG、容量は 3MB 以下のデータがアップロード可。 ※不鮮明なもの・加工されているものは不可。 ※出願時に登録された写真データは、入学後学生証に使用しますので、ご留意ください。 ※インターネット出願登録サイトにアップロードして使用します。

### (2) インターネット出願登録サイトからダウンロードして大学に提出するもの

書 類	摘 要
① Web 入学志願票 及び履歴書	入学料の支払い後に印刷（A4 判、カラー推奨）してください。 ※Web 入学志願票と履歴書は、両面印刷で提出すること。
③ 封筒貼付用宛名シート	入学料の支払い後に印刷（A4 判、カラー推奨）してください。 印刷後、各自が準備する角形 2 号封筒（240mm×332mm）に貼付してください。

### (3) 上記(2)に加え、各自が準備して大学に提出するもの

書 類	摘 要
① 修士（博士前期）課程修了証明書又は 修了見込証明書（原本）	出身大学院の学長又は研究科長が作成したものを提出してください。 ※外国語で記載された書類を提出する場合は、必ず日本語訳を添付すること。出願者が訳したものでも構いません。
② パスポートの写し ※外国人留学生のみ	外国人留学生（本学研究留学生を含む）は、パスポート（顔写真のあるページ）の写しを提出してください。

③	戸籍謄本や運転免許証の写し等 ※該当者のみ	各種証明書等と現在の姓が異なる場合は、改姓の事実が確認できる証明書等（戸籍抄本や運転免許証の写し等）を添付すること。
---	--------------------------	--

(4)各研究領域において指定する書類

領域	提出書類	内容についての条件等
作曲・指揮	修士論文 (修士論文を書いていない志願者はそれに代わる論文)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いずれの場合も日本語（8,000字以上）又は英語（3,000語以上）の論文とします。英語による論文の場合は、日本語（4,000字以上）の全訳又は要約を添付すること。</li> <li>・その他に参考資料（論文等）がある場合は、同時に提出してください。</li> </ul>
	博士論文に関する研究計画書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語（2,000字以上）又は英語（800語以上）によるものとします。英語による場合は、日本語訳を添付すること。</li> <li>・A4縦長・横書きで、表紙に氏名と研究領域を明記すること。</li> </ul>
	作曲・指揮に関する研究計画書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語（800字以上）又は英語（300語以上）によるものとします。英語による場合は、日本語訳を添付すること。</li> <li>・A4縦長・横書きで、表紙に氏名と研究領域を明記すること。</li> </ul>
	実技試験で使用する資料	詳細は「第4 入学者選抜試験」の「3 試験内容」（11~13ページ）を参照してください。
器楽及び声楽	実技及び博士論文に関する研究計画書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語又は英語によるものとします。（字数制限はありません。）英語による場合は、日本語訳を添付すること。</li> <li>・A4縦長・横書きで、表紙に氏名と研究領域を明記すること。</li> <li>・論文（修士論文を含む）等がある場合は、同時に提出してください。英語による場合は、日本語訳を添付すること。</li> </ul>
	実技試験で使用する資料	詳細は「第4 入学者選抜試験」の「3 試験内容」（11~13ページ）を参照してください。
音楽学	修士論文 (修士論文を書いていない志願者はそれに代わる論文)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いずれの場合も日本語（8,000字以上）又は英語（3,000語以上）の論文とします。それら以外の言語による論文の場合は、日本語（4,000字以上）又は英語（1,500語以上）の全訳若しくは要約を添付すること。</li> <li>・その他に参考資料（論文等）がある場合は、同時に提出してください。</li> </ul>
	博士論文に関する研究計画書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語（2,000字以上）又は英語（800語以上）によるものとします。</li> <li>・A4縦長・横書きで、表紙に氏名と研究領域を明記すること。</li> </ul>

## 4 入学考査料の支払い方法について

### (1) コンビニエンスストアの場合

	手順
デイリーヤマザキ/ ヤマザキデイリーストアー	インターネット出願登録サイトの画面に表示されたオンライン決済番号をレジで番号を知らせる
ローソン/ミニストップ	① インターネット出願登録サイトの画面に表示された「受付番号」を控える ② Loppi（ロッピー）の「各種番号をお持ちの方」ボタンを押す ③ 「受付番号」と「お申込みした電話番号」を入力 ④ 「申込券」を発券し、発券から 30 分以内にレジへ
セイコーマート	① インターネット出願登録サイトの画面に表示された「受付番号」を控える ② レジで「インターネット支払い」とお知らせください ③ お客様側レジ操作画面に、「受付番号・電話番号」を入力 ④ 支払内容を確認し、代金お支払い
ファミリーマート	インターネット出願登録サイトの画面に表示された「第 1 番号(企業コード 20020)」と「第 2 番号(注文番号 12 桁)」を控える  <b>【Fami ポートの場合】</b> ① Fami ポートの「代金支払い」ボタンを押す ② 「番号を入力する」ボタンを押す ③ 「第 1 番号(企業コード 20020)」と「第 2 番号(注文番号 12 桁)」を入力 ④ 「Fami ポート申込券」発券し、発券から 30 分以内にレジへ  <b>【マルチコピー機の場合】</b> ① マルチコピー機の「代金支払い/チャージ」を押す ② 「番号入力」を押す ③ 「第 1 番号(企業コード 20020)」と「第 2 番号(注文番号 12 桁)」を入力 ④ 発券された申込券を 30 分以内にレジへ
セブンイレブン	① 「払込票」を印刷またはインターネット出願登録サイトの画面に表示された「払込票番号」を控える ② 印刷した「払込票」を渡す、またはレジで「払込票番号」を知らせる

## (2) クレジットカードでの支払い

インターネット出願登録サイトでカード情報を入力してください。出願登録完了と同時に入学考査料のお支払いが完了しますので、その後の登録内容の変更はできません。

注1 支払方法を選択する前に支払手続画面を終了した場合、Post@net で次のように手続を行ってください。

- ① Post@net の「出願内容一覧」から、京都市立芸術大学の出願登録が完了していることを確認
  - ② 出願一覧から「出願内容を確認」ボタンをクリックして、出願内容の詳細画面を表示
  - ③ 詳細画面下部にある「支払方法再選択」ボタンをクリックして支払手続を再開
- 2 コンビニエンスストアの支払いに必要な番号等を控えるのを忘れた場合、Post@net で次のように確認できます。
- ① Post@net の「出願内容一覧」から、京都市立芸術大学の出願登録が完了していることを確認
  - ② 出願一覧から「出願内容を確認」ボタンをクリックして出願内容詳細画面を表示
  - ③ 「コンビニ情報再確認」ボタンをクリックして番号等の情報を確認
- 3 入学考査料の支払期限を超えている出願内容については無効となりますので、手続を進めることはできません。

## 5 受験票

必要書類の受理、入学考査料の入金を確認した後に、本学から「受験票ダウンロードメール」をお送りします。インターネット出願登録サイトから受験票をダウンロードし、試験当日までにご自身で印刷してください。2月10日（金）までに通知がない場合は、電話等により連携推進課入試担当に問い合わせてください。

## 6 出願上の注意

- (1) 出願は一つの研究領域に限ります。
- (2) インターネットでの出願に際して、志願者情報の入力・確認画面では必ず入力した内容（特に生年月日・電話番号・住所）に誤りがないか、十分に確認してください。
- (3) インターネット出願登録サイトからの登録だけでは出願手続完了にはなりません。入学考査料を支払った上で、必要書類を提出期間内に「簡易書留・速達」で本学に送付する必要があります。
- (4) 海外在住の受験生は、DHL や EMS 等、必要書類等が提出期間内に確実に届く方法で発送してください。また、出願書類等の到着予定日について、必ず事前に連携推進課入試担当(nyushi@kcua.ac.jp) にメールで連絡してください。
- (5) 出願期間を過ぎた場合は、いかなる事情であっても受理しませんので、郵送期間を十分考慮の上、必要書類を送付してください。
- (6) 官公庁その他会社等に在職中又は現在他大学の大学院に在籍中の者は、出願前に勤務先又は在籍する大学院の学長の受験許可が必要な場合がありますので、勤務先又は在籍する大学院の規程等を十分に確認のうえ出願してください。
- (7) 原則として、一度提出された書類は返却しません。
- (8) 新型コロナウイルス感染症の影響で、提出することが難しい書類がある場合は、事前に連携推進課入試担当まで相談してください。

## 7 事前相談

- (1) 器楽研究領域のうち、管楽器での受験を希望する場合は、出願前に必ず連携推進課入試担当に問い合わせてください。
- (2) 出願にあたり、研究内容（論文）について教員との相談を希望する場合は、出願前に連携推進課入試担当に問い合わせてください。

**【問合せ先】**

京都市立芸術大学 連携推進課 入試担当

TEL：075-334-2238

E-MAIL：nyushi@kcua.ac.jp

## 第4 入学者選抜試験

### 1 選抜方法

音楽研究科博士（後期）課程の入学者選抜試験においては、二段階選抜を実施します。  
一次試験の選抜は所定の書面審査を行い、合格した者のみが二次試験を受験できます。  
二次試験の選抜は、「3（2） 試験内容（二次試験）」の成績を総合して行います。

### 2 試験日程

#### (1) 一次試験

年 月 日	科 目
出願受付期間終了後	書面審査

注1 書面審査のため、大学での受験は必要ありません。

#### (2) 二次試験

年 月 日	科 目	時間（予定）
令和5年 3月1日（水）	語学試験	10:00～11:30
	口述試験（音楽学領域）	午後
令和5年 3月2日（木）	実技試験（作曲・指揮領域、器楽領域及び声楽領域）	10:00～
	口述試験（作曲・指揮領域、器楽領域及び声楽領域）	実技試験終了後

注1 受験の詳細については、一次試験合格発表後、インターネット出願時に登録したメールアドレスに送付します。

- 2 語学試験については、30分以上遅刻した場合は受験資格を失います。口述試験・実技試験については、原則として遅刻は認めません。
- 3 課せられた試験のうち一つでも受験しなかった場合は失格となり、以降の試験の受験資格を失います。
- 4 入学試験当日に受験できなかった場合、追試験等の特別措置及び入学考査料の返還は行いません。
- 5 学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻しん、水痘等）に罹患し治癒していない場合又は罹患した疑いがある場合は、他の受験生や監督者等への伝染の恐れがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、症状により医師が伝染の恐れがないと認めた場合は、この限りではありません。
- 6 新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の者は受験できません。また、海外から日本に入学して受験する場合、受験生は防疫対策として要請される事項に基づき行動することから、入学後に待機を要請される場合は、その期間は受験できないため、待機期間の有無を確認のうえ、余裕を持って入学してください。ただし、発熱・咳等の症状がない無症状の濃厚接触者の場合は受験できる場合がありますので、詳しくは連携推進課入試担当に問い合わせてください。
- 7 試験当日は症状の有無にかかわらず、マスクを持参し、昼食時や試験監督者等から指示があった場合を除き、常に着用してください。
- 8 新型コロナウイルス感染症の今後の感染状況によっては、学生募集要項に記載されている選抜方法とは異なる方法で選抜を実施する可能性があります。その場合は本学ホームページ（<https://www.kcua.ac.jp/>）で随時、お知らせします。

### 3 試験内容

#### (1) 一次試験

各研究領域において課す一次試験の内容は次のとおりです。

科目	内 容	
書面審査	作曲・指揮領域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修士論文又はそれに代わる論文</li> <li>・博士論文に関する研究計画書</li> <li>・作曲・指揮に関する研究計画書</li> </ul>
	器楽領域及び声楽領域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実技及び博士論文に関する研究計画書</li> </ul>
	音楽学領域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修士論文又はそれに代わる論文</li> <li>・博士論文に関する研究計画書</li> </ul>

#### (2) 二次試験

各研究領域において課す二次試験の内容は次のとおりです。ただし、社会人特別選抜及び外国人留学生特別選抜資格認定者については、語学試験を課しません。

##### ア 作曲・指揮領域

科目	内 容
語学試験	英語、ドイツ語、フランス語及びイタリア語の4か国語の中から1か国語を選択してください。(辞書の持込可。ただし電子辞書の場合は通信機能の無いものに限ります。)
口述試験	提出論文等及び研究計画書に関する口頭試問
実技試験	<p><b>作曲</b></p> <p>出願時に主要作品を提出すること。その際に提出作品の演奏CD・DVD等を添えてもかまいません。(提出物は返却しませんので、作品はコピーを提出してください。)</p> <p>提出する作品数は5作以内とします。また、修士作品を提出してもかまいません。提出された作品に対する口頭試問を行います。</p>
実技試験	<p><b>指揮</b></p> <p>バロック、古典派、ロマン派、近代、現代(1945年以降に作曲された作品で、楽譜が出版されたもの)のそれぞれを含む8曲以上の管弦楽のレパートリーの一覧表を出願時に提出し、そのうち当日指定された2曲を指揮すること。(演奏は本学で準備するピアノ2台によるものとします。)</p> <p>また、レパートリー一覧表について口頭試問を行います。</p> <p>*本学の作曲・指揮領域(指揮)においては、多岐の分野に渡り研究を行うことができますが、入学試験においては、管弦楽のレパートリーにより実施します。</p>

## イ 器楽領域

科目	内 容
語学試験	英語、ドイツ語、フランス語及びイタリア語の4か国語の中から1か国語を選択してください。(辞書の持込可。ただし電子辞書の場合は通信機能の無いものに限ります。)
口述試験	研究計画書等に関する口頭試問
実技試験	<p><b>ピアノ</b></p> <p>バロック、古典派、ロマン派、近代、現代(1945年以降に作曲された作品で、楽譜が出版されたもの)、エチュード(高度な技術を要するもの)のそれぞれを含む1時間程度のプログラムによるリサイタルを準備すること。 プログラムは出願時に提出すること。 *都合によりプログラムの一部を省略させることがあります。</p> <p><b>弦楽</b></p> <p>1時間程度の自由構成プログラムによるリサイタルを準備すること。 リサイタルは、ヴァイオリン又はチェロによる演奏であること。 プログラムは出願時に提出すること。伴奏が必要な場合はピアノによるものとし、ピアニストを同伴すること。 *都合によりプログラムの一部を省略させることがあります。</p> <p><b>管楽器</b></p> <p>1時間程度の自由構成プログラムによるリサイタルを準備すること。 プログラムは出願時に提出すること。伴奏が必要な場合はピアノによるものとし、ピアニストを同伴すること。 *都合によりプログラムの一部を省略させることがあります。 *打楽器については、令和5年度は学生募集は行いません。</p>

## ウ 声楽領域

科目	内 容
語学試験	英語、ドイツ語、フランス語及びイタリア語の4か国語の中から1か国語を選択してください。(辞書の持込可。ただし電子辞書の場合は通信機能の無いものに限ります。)
口述試験	研究計画書等に関する口頭試問
実技試験	<p>1時間程度の自由構成プログラムによるリサイタルを準備すること。 リサイタルは、2か国語以上の原語による演奏であること。 プログラムは出願時に提出し、伴奏者は同伴すること。 *都合によりプログラムの一部を省略させることがあります。</p>

## エ 音楽学領域

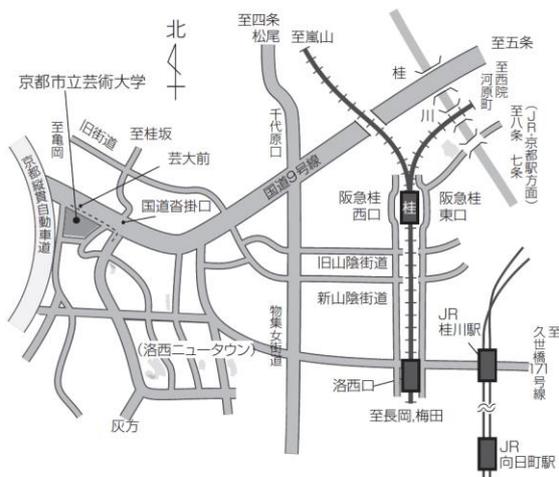
科目	内容
語学試験	英語、ドイツ語、フランス語及びイタリア語の4か国語の中から1か国語を選択してください。(辞書の持込可。ただし電子辞書の場合は通信機能の無いものに限ります。)
口述試験	提出論文等及び研究計画書等に関する口頭試問

【参考】過去3年間の語学の試験問題は、祝日を除く月曜日から金曜日の午前9時から午後5時までの間に限り、連携推進課入試担当事務室において閲覧することができます。また、過去3年間の語学の試験問題は、著作権法上の関係により掲載できないものを除いて、本学ホームページ (<https://www.kcua.ac.jp/admission/application-2/>) でも掲載しています。  
なお、電話・文書等による照会には一切応じません。

## 4 第二次試験の試験会場

京都市立芸術大学大学院音楽研究科（京都市西京区大枝沓掛町 13-6）

### ◆試験会場への略図



### ◆試験会場周辺略図



### ◆試験会場への交通機関

令和4年11月1日現在

主要な駅	のりば	バスの種類	乗車時間	最寄りのバス停	バス停から大学までの所要時間
京都駅	C2 のりば	京阪京都交通バス (2・14・28A 系統)	約 45 分	芸大前	徒歩すぐ
	C5 のりば	市バス (73 系統)	約 45 分	国道沓掛口	徒歩約 10 分
阪急桂駅	桂駅東口 ②のりば	京阪京都交通バス (1・2・13・14・25・28A 系統)	約 20 分	芸大前	徒歩すぐ
	桂駅西口	市バス (西 5 系統)	約 20 分	国道沓掛口	徒歩約 10 分
JR 桂川駅 (阪急洛西口駅経由)		京阪京都交通バス (11A 系統)	約 15 分	芸大前	徒歩すぐ
JR 向日町駅 (JR 桂川駅・阪急洛西口駅経由)		ヤサカバス (1 号系統)	約 25 分	国道沓掛口	徒歩約 10 分

### 【注意】

- 交通機関の利用については、路線及びダイヤの変更に留意するとともに、周辺の交通事情等を事前に把握し、試験当日、指定の時刻に遅れることのないよう注意してください。
- バスは京阪京都交通の利用が比較的便利です。

## 第5 合格発表

### (1) 一次試験

令和5年(2023年)2月15日(水)午前10時(予定)から約1週間、本学ホームページ(<https://www.kcua.ac.jp/>)に一次試験合格者の受験番号を掲載します。

### (2) 二次試験

令和5年(2023年)3月7日(火)午後4時(予定)から約1週間、本学ホームページ(<https://www.kcua.ac.jp/>)に二次試験合格者の受験番号を掲載します。

注 合格者には文書で通知します。電話やメールによる問合せには一切応じません。

## 第6 入学手続

合格者は、次のとおり入学手続を行ってください。詳細は、合格通知書とともに送付します。

### 1 手続期間

令和5年(2023年)3月中旬

### 2 手続場所

京都市立芸術大学連携推進課入試担当事務室

### 3 入学料の納付

市内出身者 282,000円

市外出身者 482,000円

注 市内出身者とは、入学前年の4月1日以前から引き続き京都市内に居住し、住民票の写しにより証明される者のことです。

### 4 誓約書の提出(正・副保証人)

### 5 入学料以外の納付金

(1) 学生教育研究災害傷害保険料 2,600円(3年間分)

(2) 学研災付帯賠償責任保険料 1,020円(3年間分)

(3) 音楽教育後援会費 50,000円(3年間分) ※留学生は払込不要です。

(4) 真声会(同窓会)入会金 15,000円 ※本学出身者及び留学生は払込不要です。

### 〔参考〕授業料

535,800円(年額) ※前期、後期に分割して納入することができます。

注 上記の入学料及び授業料は令和4年度(2022年度)入学者に適用されたものであり、改定があった場合は、合格者に通知します。

## 第7 個人情報の取り扱いについて

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（以下「個人情報保護法」という。）に基づき本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報の利用については、入学者選抜に係わる業務のほか、次のとおりです。

### 1 利用目的について

- (1) 合格者の住所・氏名等の個人情報を入学手続に係わる業務で利用します。
- (2) 入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学後の学籍管理等の修学に係わる業務並びに健康診断等の保健管理に係わる業務で利用します。
- (3) 入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学料並びに授業料徴収等の納付金管理に係わる業務で利用します。
- (4) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を1年次における授業料減免及び奨学生選考等の修学支援に係わる業務で利用します。
- (5) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を個人が特定できない形で統計処理等の付随する業務及び入学案内業務並びに本学における入学者選抜に関する調査研究で利用します。

### 2 第三者への個人情報の提供について

本学が取得した個人情報は、「個人情報保護法」第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

ただし、次の場合必要最低限の情報を提供することがあります。

- (1) 上記1.(1)～(5)の個人情報を取り扱う業務を、個人情報の適切な取り扱いに関する契約を締結したうえで、外部の事業者へ委託する場合
- (2) 本学の教育後援会、同窓会へ情報提供する場合（合格者のみ）

## 第8 音楽研究科博士（後期）課程の概要

### 1 音楽研究科博士（後期）課程について

#### (1) 専門的研究が出会い、深化する場としての博士（後期）課程

学部における基礎教育並びに大学院修士課程等において積み重ねてきた専門的スキル及び専門的学識の研鑽を踏まえた能力の持ち主が、広領域的アプローチを視野に入れて多様な展開を図りつつ、自己の専門領域の方法理論を深化させる課程として位置づけるものです。そのため、専門研究を担う「作曲・指揮」「器楽」「声楽」「音楽学」の4領域を音楽専攻として単一組織にまとめています。

#### (2) 地域が要請する博士（後期）課程

本学は開学以来、半世紀にわたって、京都のみならず、関西、西日本地区の音楽教育の中心的拠点として機能してきました。京都及び関西地区には10校を超える音楽系大学がありますが、理論・実技系両方の博士（後期）課程を設置しているのは、数校のみです。公立大学として、本学に課せられた役割からしても、本学の修了生のみならず、他大学の修了生にも高度な研究の場を提供します。

#### (3) 国際的な音楽教育・研究の場としての博士（後期）課程

本学はドイツのフライブルク音楽大学、オーストリアのウィーン国立音楽大学、イギリスの英国王立音楽大学、韓国の檀国大学校音楽大学、台湾の国立台北芸術大学音楽学院、ノルウェーのベルゲン大学グリーグ・アカデミー、イタリアのレッツェ音楽院並びにスイスのジュネーブ高等音楽学校と国際交流協定を結んでいます。博士（後期）課程は最高水準での音楽研究のための国際交流の場を提供します。この目的のため、博士（後期）課程の定員内で外国人留学生に対する特別選抜を実施し、受入れに対する配慮を行います。

#### (4) 社会人の再教育の場としての博士（後期）課程

すでに社会人として演奏活動や研究活動に活躍している専門家に、先端的な研究成果や情報、芸術的研鑽の場を提供し、社会人の再教育の場としての役割を担います。そのため、特別選抜を実施することにより、博士（後期）課程の定員内で社会人を受け入れます。また、音楽学部や音楽研究科修士課程を卒業・修了後、海外に留学し、豊かな経験を積んだ優秀な人材も歓迎します。

## 2 履修概要

### (1) 履修課程

履修区分	授業科目	履修年次				履修単位数		
		1年次	2年次	3年次	小計	中計	合計	
必修科目	研究領域研究指導							12
	特別総合演習	1	1			2	4	
	音楽学演習	1	1			2		
選択必修科目	研究領域	作曲・指揮研究	2	2	2	2	8	8
		器楽研究	2	2	2	2	8	
		声楽研究	2	2	2	2	8	
		音楽学研究	2	2	2	2	8	

(2) 履修方法及び修了要件

必修科目のうち、特別総合演習及び音楽学演習 2 科目計 4 単位、選択科目から各領域研究 8 単位以上を修得し、研究領域研究指導により博士論文（ただし、研究領域により、研究作品の発表又は研究演奏を行います。）を作成・提出して、審査及び最終試験に合格すること。

(3) 取得学位

作曲・指揮領域	}	博士（音楽） Doctor of Musical Arts (DMA)
器楽領域		
声楽領域		
音楽学領域……………		博士（音楽学） Doctor of Philosophy in Musicology (PhD)

3 講義等の内容

(1) 研究領域研究指導（全研究領域対象）

博士論文作成のための指導、並びに博士学位審査のための研究作品制作又は研究演奏の指導。ただし、音楽学研究領域においては、博士論文作成のみとすることができます。

(2) 特別総合演習（全研究領域対象）

各研究領域における理論的研究を専門的に深化させるとともに、個々の研究領域の専門性を超えて、より広範かつ総合的な視点から研究の展開を図ります。そのために、他研究領域の教員や学生との共同討議を通して専門領域以外の知見や理論的特質を探求し、それらを専門領域の研究に反映させます。

(3) 音楽学演習（全研究領域対象）

担当教員の指導のもと、音楽の理論的・実践的研究の基礎となる音楽学諸領域についての知見の整理とそれに基づいた考察を深め、専門領域の研究への応用を図るとともに、博士論文のテーマ決定に資します。

(4) 領域研究

職名については令和 4 年（2022 年）11 月 1 日現在

※印は令和 6 年（2024 年）3 月末退職予定の教員、※※印は令和 7 年（2025 年）3 月末退職予定の教員、

※※※印は令和 8 年（2026 年）3 月末退職予定の教員を示す。

研究領域・担当教員	研究指導内容
<b>作曲・指揮</b>  岡田加津子 教授 中村 典子 准教授 酒井 健治 講師 阪 哲朗 教授	作曲作品の実作又は指揮の実技と理論の研究を通して、高度な作曲技法又は指揮法の修得を目指します。そのために、作曲と指揮の密接な関係に鑑みて、双方向からの実践的・理論的研究を行うとともに、それらを取りまく歴史的、社会的、文化的状況についても理解を深め、新たな音楽の創造を図ります。  作曲の作品制作及び理論の指導 作曲の作品制作及び理論の指導 作曲の作品制作及び理論の指導 指揮法及びレパートリー（管弦楽・歌劇・合唱）形成の指導
<b>器楽</b>	器楽演奏の実技と理論の研究を通して、高度な器楽演奏の修得を目標とします。そのため、演奏作品及び演奏法に関する実践的・理論的研究を行うとともに、それらを取りまく歴史的、社会的、文化的状況についても理解を深め、新たな器楽演奏の創造を図ります。

研究領域・担当教員	研究指導内容
<p>※※ 砂原 悟 教授</p> <p>上野 真 教授 三船 優子 准教授</p> <p>豊嶋 泰嗣 教授 向山佳絵子 准教授 (着任予定)</p> <p>※ 大嶋 義実 教授</p> <p>村上 哲 教授</p>	<p>ピアノの演奏法一般並びにドイツロマン主義を中心とするピアノ作品の解釈の指導</p> <p>ピアノの演奏法一般並びに近現代ピアノ作品を含む解釈の指導</p> <p>ピアノの演奏法一般並びに古典から近現代までの解釈の指導、特にアメリカ作曲家・作品について</p> <p>ヴァイオリン演奏法一般、弦楽作品解釈及び室内楽一般の指導</p> <p>チェロ演奏法一般、弦楽作品解釈及び室内楽一般の指導 (弦楽)</p> <p>木管楽器(フルート)演奏法並びに管打楽作品理論研究、バロックから近代に至る管打楽作品解釈の指導</p> <p>金管楽器(ホルン)演奏法一般並びにオーケストラ、吹奏楽、室内楽作品の解釈と指導</p>
<p><b>声楽</b></p> <p>※ 小濱 妙美 教授 久保 和範 教授</p>	<p>声楽演奏の実技と理論の研究を通して、高度な声楽演奏の修得を目標とします。そのため、演奏作品及び演奏法に関する実践的・理論的研究を行うとともに、それらを取りまく歴史的、社会的、文化的状況についても理解を深め、新たな声楽演奏の創造を図ります。</p> <p>声楽演奏一般並びに声楽楽曲解釈とレパートリー形成の指導</p> <p>声楽演奏一般並びに声楽楽曲解釈とレパートリー形成の指導</p>
<p><b>音楽学</b></p> <p>太田 峰夫 教授</p> <p>池上健一郎 准教授</p> <p>川端美都子 准教授</p> <p>正田 悠 講師 (着任予定)</p>	<p>音楽学諸分野の先端的研究の成果をふまえた、高度な音楽学研究の達成を目標とします。</p> <p>そのため、西洋音楽史・現代音楽論・演奏科学・音楽心理学・民族音楽学に関する理論的研究を行うとともに、学際的・分野横断的な研究を積極的に推進し、新たな音楽学研究の創造を図ります。</p> <p>西洋音楽史領域における高度な専門的知識の提供、および研究方法の指導</p> <p>西洋音楽史の領域について、様式研究、資料研究、音楽理論、音楽文化論等の観点から、高度な専門的知識を提供するとともに、個々の学生の関心に即した研究方法の指導</p> <p>民族音楽学や音楽人類学の観点から、音楽の社会的・文化的意味の考察及び民族誌的手法に関する研究の指導</p> <p>演奏科学・音楽心理学の観点から、高度な専門的知識を踏まえた実験・調査方法論、統計データ処理、および論文執筆に関する研究の指導</p>